

eスポーツを利用した、自転車スポーツの普及・需要拡大 (株式会社METRA)

活動類型②スポーツ関連サービスアプリなど、スポーツ用具を活用したスポーツ実施者獲得

事例

取組概要

- 男女、年齢、天候に関係なく幅広く楽しみながら運動がすることが可能で、実際に自転車をこぐスポーツである「E-sports BIKE」(機器とソフト)の普及に向けたデモンストレーションイベントの実施、および幅広いPRをする為に自転車女子インフルエンサーチーム(ANGEL)を活用したメディア展開を実施。

取組の狙いとポイント

スポーツ 実施の現状

- コロナ禍においてスポーツジム、ヨガスタジオ、体育施設等での利用制限が続く中、多くの人のスポーツ、運動機会が激減している。

三密を避けるスポ ーツとして普及

- コロナの制限下でも三密を避け、自宅で実施できる「E-sports BIKE」を普及することで、時間、天候に関係なくスポーツを実施し、更にテレワーク中の方も自宅での運動を気軽にしてもらう。また、イベントもオンラインなので、イベント関連企業にもコロナ禍での実施可能コンテンツとして利用してもらう。

デモンストレーシ ョンとイベント実施

- 普段スポーツにあまり興味のない人達にも出来るだけ幅広く興味をもってもらうために、自転車女子インフルエンサーチーム(ANGEL)や、タレント(スポーツ女子、モデル、アイドル)、自転車プロ選手を活用したイベント実施やメディア展開を実施。自転車関連メーカー及び販売会社、飲料メーカー、新聞社、ホテル、埼玉県、さいたま市等の協力をえながら、より発信力を高め、コスト軽減を図りながら実施。(自転車及びスマートローラー割引購入、物品提供、PR協力、会場提供/埼玉県庁舎、ロイヤルパインズホテル浦和)

取組効果

- レースイベント(MOVING)では参加者延べ1,200人を達成した。
- 11月3日に新たに利用開始したソフト「ONELAP」日本版ダウンロード数が1月現在、約3,000に達した。

今後の展開、取組方針

- より安価な機材を提供できるように、本年度中に販売価格9万円を目標(現在は約20万円)に完成させるためにメーカーと開発を進めている。
- 地域の特性にあった「自転車文化」を開発しつつ、「サイクルスポーツ事業」を成立させ、更なる普及を自転車関連各団体等との連携中。
- 日本の観光地をコースにするなど、他業界との事業モデルを視野にいれ、日本版オリジナル新ソフト開発を進めている。

実施体制、運営状況等

- 株式会社METRAのスタッフを中心に、イベント「(MOVING2020、TIF/フジテレビ、埼玉カップ他)」の企画・実施・PRを実施。
- 実施期間: 2020年8月~2021年1月
- 概算予算: 26,700千円(令和2年度)
- 運営資源: ①デモンストレーションスタッフ人件費 30万 ②機材保管費 30万 ③自転車、スマートローラー、モニター、端末、周辺機材等 350万(14セット) ④HP作成 60万(ONELAP JAPAN、ANGEL、MOVING) ⑤記者発表関連費 50万(会場費、ゲスト出演料、配布グッズ、スタッフ人件費) ⑥PR 150万(インフルエンサー、ANGEL、ニュース配信、体験会) ⑦イベント開催費約2,000万(会場費、ゲスト、生配信、制作、アルバイト、来賓関連)

